

製品名: DRA ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10153**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	84kDa

抗原情報

遺伝子名	SLC26A3
別名	SLC26A3; DRA; Chloride anion exchanger; Down-regulated in adenoma; Protein DRA; Solute carrier family 26 member 3
遺伝子 ID	1811.0
SwissProt ID	P40879
免疫原	ヒト DRA の C 末端領域から得られた合成ペプチド。

背景

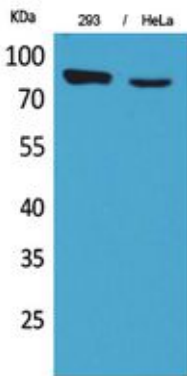
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、細胞膜を介して塩化物イオンを輸送し、重炭酸イオンと交換する膜貫通糖タンパク

質です。下部消化管粘膜、特に円柱上皮の頂端膜と一部の杯細胞に局在しています。このタンパク質は腸管での塩化物吸収に必須であり、この遺伝子の変異は先天性塩化物下痢症と関連付けられています。[RefSeq 提供、2008 年 10 月],発達段階: 大腸の腺腫 (ポリープ) および腺癌では発現が著しく低下しています。、疾患: SLC26A3 遺伝子の欠陥は先天性塩化物下痢症 (CLD) の原因です [MIM:214700]。CLD は、過剰な塩化物を含む大量の水様便を特徴とする疾患です。この疾患の患児は未熟児であることが多い。、機能: 塩化物 / 重炭酸塩交換輸送体。結腸における吸収に関与する。電解質および水分の吸収を媒介する。、PTM: DNA 損傷時に、おそらく ATM または ATR によってリン酸化される。、類似性: SLC26A/SulP トランスポーター (TC 2.A.53) ファミリーに属する。、類似性: 1 つの STAS ドメインを含む。、サブユニット: PDZK1 と相互作用する。、

研究分野

-

画像データ



DRA ポリクローナル抗体を用いた 293HeLa 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。